

景 ing

大学生グラフィティ

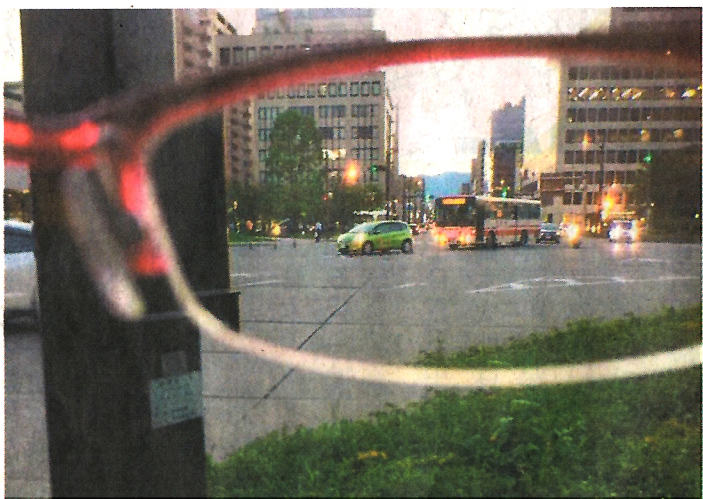
8月のテーマ

光

新市街にあるSCB放送局の学生たちが街の風景を切り撮る「景ing」。今回のテーマは夏を象徴する言葉の一つ「光」です。いろんな光を探して街なかを歩いてみました。

眼鏡

目に光を与えてくれる眼鏡。「普段はコンタクトだけどたまには眼鏡で出かけよう」と思い、数日間だけ眼鏡をかけて過ごしました。コンタクトよりも眼鏡の方が、目にいっぱい光を与えてくれているような気がしました。（堀田奈緒）



花火



花火大会に行ってきました。曲に合わせて色とりどりの花火が次から次へと上がります。光の花は咲き始めから咲き終わりで、多くの人々を魅了していました。名残惜しく最後の花火を眺め、また来年も絶対来ようと思いました。（阿部いずみ）



ボトル

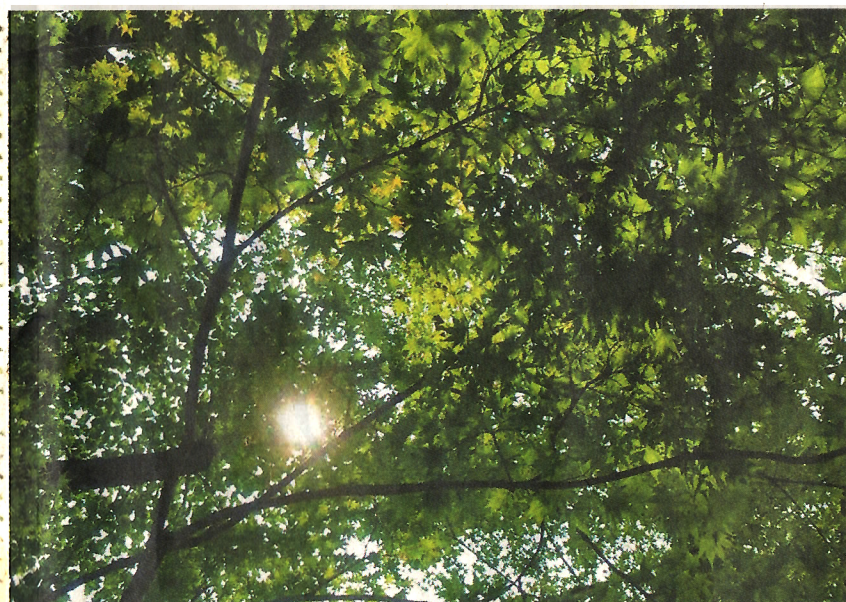
熊本の夏の風物詩「火の国まつり」。街なか踊りと掛け声でにぎわう中、ひときわ目を引く電球のボトル。子どもから大人までたくさんの方が手にしていた。赤、青、黄色と色鮮やかに光るこのドリンクで、夜の街はきらめきが増したように感じました。（桑原侑里）



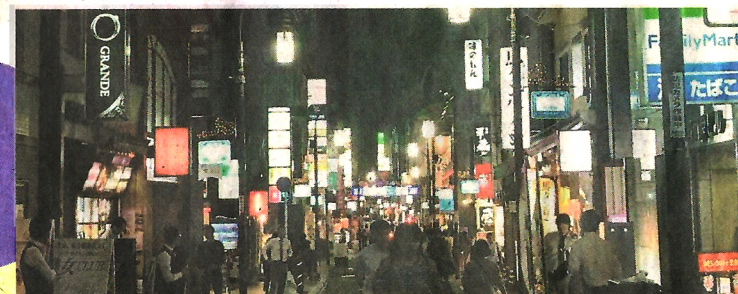
etc...

木漏れ日

初めて行った水前寺成趣園。真夏でしたが、木の下は風が吹いて涼しく、キラキラとした太陽からの優しい光が差し込み、うとうとしてしまいました。これだけ気持ち良い場所なら、年間パスポートを買おうかな。（曾我優妃）



SCB放送局
取材班から



人々を平等に包む暖かさ

今回は光というテーマで、街なかの光を探してみました。街は、いろいろな輝きを放っていて本当に面白い。祭りの光のようににぎやかな光があれば、木

漏れ日のように優しい光もありました。

その中で私がシャッターを押したこの一枚は、夜の街を彩るネオンの光。街なかにいるさまざまな人々を、平等に優しく包む暖かさを感じたので、撮ってみました。（福村海）

◇SCB放送局学生取材班 新市街にある崇城大SCB放送局スタジオで活動している複数の県内大学の学生がメンバーです

2017年8月25日

熊本日日新聞

夕刊 P.4